



経験豊富な社会人、先輩たちが

「学生ボランティアで活動してい

「徳島の汽水域とハゼについて」

: 松田春菜

自然や生物にも興味がありま

ひよこサイエンスカフェ

6月に

人間文化学科2年)さんは、

「私は文系なので科学のことはあ

がつくった干潟のふしぎ」

2

4年6月(取材時点

「干潟の生きものスペシャリストが語る 人

:大田直友(阿南高専教師)

に関心を持ちたいです」

阿部碧(あべみどり、

総合科学部

がなかったのですが、これを機会

「川遊びの達人に聞く! 吉野川の魅力」

第 4 回

2

4年2月

ゲスト: **塩崎健太**(川塾代表)

「山の魅力と山の自然を守る秘訣」

|嶺の自然を守

3年11月

「今まであまり自然や科学に興味

2年) さんは、

かむら ゆき、総合科学部社会創生学科

加しました」

スタッフの一人、

中村有希(な

. 暮石洋

したので、お手伝いできたらと参

「カタツムリから見た徳島の自然」

2013年9月

(佐那河内ネイチ)

生きものや自然のことについて、わかりやすくゆるくお話を聞くトークイベントです。

です。 生は「ひよこ」?そんな親子どん 「にわとり」なら、興味津々、 ちこちをちょこちょこ歩き回る学

の

先端技術科学教育部電気電子創生工学

松原修三(まつばら

しゅうぞう、

ース1年) さんは、

「原君と同じくボランティア部で

自然や生物にも興味があります」

総合科学部社会創生学科2年)さん、

篠本聖太(しのも

しょ

た

「原君に声をかけられたんですが、

学部社会創生学科2年の原将希 営を手伝ってくれる仲間もできて (はら まさき)さんが委員長をバ トンタッチして、 きました。この6月には、総合科

新たなスタッフ

運 徳島の自然の豊かさを知っても すが、人間的成長を目指して参加 いたいです」 したいと思いました。 過去の内容を紹介します。

学教育部建設創造システム工学 すが、先生からヒントと提案をい をさせていただいていているので 議長をされており、 室の鎌田磨人(かまだまひと)教授 手探りで始めたのが、 す (取材時点では予定)。 は5回目のカフェがオープンしま 行動も生まれるかもしれない、そ たのが「ひよこサイエンスカフェ」 んな可能性を秘めながら、 しさを発信していこうと始められ 「建設工学科生態系管理工学研究 にしまい) さん。 このカフェを企画から運営まで、 『生物多様性とくしま会議』 楽しく話し、 ス博士後期3年の大西舞(お カフェのように、気軽に集 そこから新しい 私もお手伝い 先端技術科

自然や科学を学び、徳島の素晴ら ぶり的な出会いを楽しみながら、 ただきました」

視線に立って運営していきたいで

ゲスト:柏田良樹(徳島大学薬学部)

「身近な植物の隠されたチカラ

わかりませんが、

お客さんの

口コミで参加者が増える中、

第1回20 乾隆帝 13年

戦なのだ!と旅を通して学んだ気 見ないと分からない!なんでも挑 がします。 で満ち溢れていて、それは行って また、世界は自分の知らないこと

というわけで、私は大学で旅に

持ちたい、管理栄養士の卵として どのプロジェクトを行いながら、 形にするために立ち上げたもので、 ぷり浸かっているわけですが、 出会い「なんでも挑戦!」のアツ 個性的でアツいメンバー 徳島の特産品を用いた商品開発な 役栄養士へのインタビュー企画や 半年ということもあり、 現在は四国4大学の栄養系学生30 の栄養系学生と交流して繋がりを 生団体 Nuways という学生団体で ますと、勉強・部活動・アルバイ れ以外は何をしているのかと申 としてまだまだですが、今ある現 人ほどで活動しています。 いなどといったメンバーの思いを キャリアプランを多角的に考えた の活動です。 のが、去年立ち上げた四国栄養学 い人間になってしまったわけです。 このように長期休暇は旅にどっ その中でも特に力を入れている ・学生団体の活動などです。 この団体は、 . 学生団体 と共にこ 出来て 他大学 そ

> さんお世話になっております。 会い・繋がりの大切さです。 ゴルの旅に誘われたのも、

長文になりましたが、 ができるようなラスト2年間を過 出会った人には素敵なおせっ これからは、 当に人との出会い・繋がりの大切 突然に訪れる出会いや人との繋が させていただいているのもすべて、 押され学生団体を立ち上げたのも、 たいと思います。それは人との出 いつも痛感させられることを話し ごしていきたいと思っております た人たちに恩返し、 さを身に染みて感じる日々です。 などの先輩・仲間・後輩にはたく ましても、学科・部活・バイト先 りがあったからこそ実現していま このマイキャンパスライフを執筆 最後に、こうした活動を通して また何気ない日常の中に関し 自分がお世話になっ そして新たに 最後までお 背中を モ か 本

My Life Situation ●サークル等

旅行、食べること

「なんでも挑戦!」続きの2年間

まった2年間を振り返りますと、

さて、あっという間に過ぎてし

上のトラブル&ハプニングの連続

る時間、

自身のことを見つめ直す

過ごしていた問題・疑問を考え

の温かい交流、普段考えずに通り ない刺激だけではなく現地の人と うです。旅では、日本では味わえ なって旅に魅了されてしまったよ

ではないかと私は思っております。時間を得られるところが魅力なの

にとっての「挑戦」です。

と思っております。

これが今の私

れからどんどん成長していきた

た。

いざ行ってみますと、予想以

ちでモンゴルに行くことにしまし 期休暇の暇つぶしという軽い気持

のですが、観光ツアーでは味わえ で、非常に大変な思いばかりした 契機としてこれからさらに頑張ら 出しの学生ですので、この執筆を が信じられません。まだまだ駆け

突然の誘いに驚きながらも、

長

かないかと声をかけてきたのです。

のように自分が執筆していること は拝見しておりましたので、今こ のマイキャ 希と申します。

ンパスライフのページ

学してすぐ、教室で近くに座った

とでもいいましょうか。大学に入

けではありません。

転機は突然

忘れられず、長期休暇になると押

入れからスーツケースを引っ張り

女の子がいきなり、

モンゴルに行

おります。

本当に私は大学生に

出し、

いろんな国や地域を旅して

ざいました!

入学した時からこ

当させていただくことになり

まし

ヤンパスラ

イフを担

だったように思います。

な

S

「旅」の面白さを感じること

阿波踊り 栄養学連

インドにてサリーを着て

(右から2人目)

(前列右から2人目)

が出来ました。

そしてその後も、

旅の楽しさが

医学部栄養学科3年の皆川祐

からそのようなアツい人間だった 戦!と今は申しておりますが、

せていただきたいと思っておりま

蔵本卓球部 ●課外活動 四国栄養学生団体Nuways、 TICOYOUTH, TALS ●アルバイト CoCo壱番屋、 ファーストプロモーション(試食販売) ●趣味

いただき、 ありがとうご

スタッフ写真(左から大西さん、中村さん、阿部さん、原さん、篠本さん、松原さん)

多くの人に

12 11